

泡洗車機 快洗 J r . 5

型式 QW-5000

取扱説明書

⚠注意

使用前に必ずお読みください。

はじめに

このたびは「泡洗車機 快洗Jr. 5 QW-5000」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。


この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。


○ お客様へのお願い


- この製品には保証書が添付されています。
製品のお受け取り時には、販売店による記入事項をご確認の上、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 取扱説明書は製品の一部です。
大切に保管し、必要なときにいつでも読めるようにしてください。
不明な点があるときは、まず本書を読み返してください。
本書を紛失、汚損した場合には、すみやかに購入の上、正しく保管してください。
- 取扱説明書が現品と異なる場合は、お買い上げの販売店までご請求ください。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

○ 本書中の表示について

この取扱説明書では、誤った取り扱いによる事故を未然に防止するため、以下のマークをつけて注意事項や補足事項を表示しています。

 **危険** : 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫ることが想定されます。

 **警告** : 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。また、人が傷害を負う危険や物的損害を被ることが想定されます。

 **注意** : 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険や、物的損害を被ることが想定されます。

目次

1. 安全にご利用いただくために	1-1 / 2
1. 1. ご注意いただきたいこと	1-1
1. 2. 警告ラベルの貼付位置と内容	1-2
2. 付属品	2-1 / 1
3. 装置仕様	3-1 / 1
4. 各部の名称	4-1 / 3
4. 1. 各部の名称	4-1
5. 運転前の準備（組立手順）	5-1 / 5
5. 1. 本体の組立	5-1
5. 2. 水・エア・電源の接続	5-3
5. 3. 洗剤の補給	5-4
5. 4. ムース別吸引量の調整	5-4
5. 5. エア圧力の調整	5-5
6. 使用方法	6-1 / 3
6. 1. 操作スイッチ	6-1
6. 2. 高圧ポンプのエア抜き	6-1
6. 3. プロセスポンプのエア抜き	6-1
6. 4. バリアブルノズルの使用方法	6-2
6. 5. 低圧ホースのエアパージの方法	6-3
6. 6. 凍結の恐れがある場合	6-3
6. 7. 放水ポンプのエア抜き（オプション）	6-3
7. オプション機能について	7-1 / 1
8. 日常管理	8-1 / 1
8. 1. 始業点検	8-1
8. 2. 終業時の処置	8-1
9. 保守点検	9-1 / 3
9. 1. オイルの交換	9-1
9. 2. ケミカルフィルターの清掃	9-1
9. 3. 高圧ガンノズルの洗浄	9-2
9. 4. 水供給ジョイントフィルターの清掃	9-2
9. 5. 水フィルターの清掃	9-2
9. 6. 機械本体のお手入れ	9-3
9. 7. 保守点検管理表	9-3
10. こんなときは	10-1 / 2
10. 1. こんなときは	10-1
10. 2. サーキットプロテクターの復帰方法	10-2
11. 消耗部品について	11-1 / 1
12. 製品品質保証規定	12-1 / 1

保証書兼取扱説明書受領書

1. 安全にご利用いただくために

1. 1. ご注意いただきたいこと

危険

- ・本機が接続される電源には感電防止用漏電遮断器を設置してください。
また本機は必ず接地(アース)をしてください。
- ・接地工事や漏電遮断器の取付は電気工事店にお願いしてください。
- ・漏電遮断器は下記の仕様のものをご使用ください。
定格電流: 15A、定格感度電流: 30mA、高速型



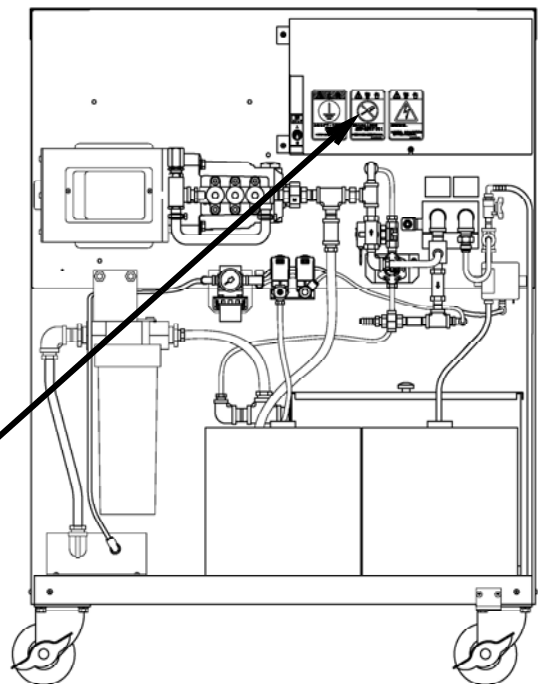
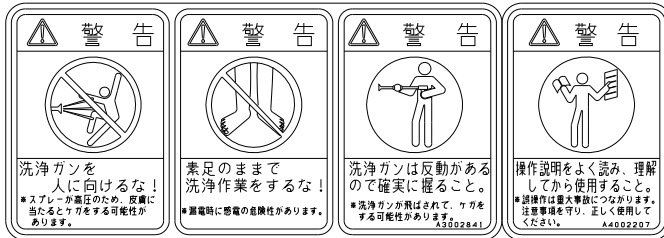
警告

- ・取扱説明書をよく読んで正しい取り扱いをし、安全に作業してください。
- ・正しい取り扱いを十分知らない人、正しい操作ができない人には絶対に本機を使用させないでください。
- ・作業をする場合は作業に適した保護具(ヘルメット、合羽、保護メガネまたは保護面、防水長靴、手袋)を必ず使用し、適正な服装でしてください。
- ・感電事故防止のため、絶対に裸足で作業しないでください。
- ・電源プラグの抜き差しは、必ずプラグ本体を持ってしてください。
コード部分を持った状態でプラグの抜き差しはしないでください。
コードの断線、短絡(ショート)の原因となります。
- ・本機の点検整備及び修理は電源コードのプラグをコンセントから抜いてしてください。
電源が接続されたままですと事故の原因となります。
- ・作業場所には関係者以外立入禁止にしてください。子供を近づけると事故の原因となります。
- ・電源コードをつかんで本機を移動させないでください。
コードの断線、短絡(ショート)の原因となります。また、コードに刃物類、高熱のものなどが触れたり、
重量物を落下させたりしないようご注意ください。
- ・コードが損傷した場合は直ちに作業を中止し、新しいものと交換してください。
電源コードの交換は販売店にお願いしてください。
- ・製品の改造は絶対にしないでください。製品本来の性能が発揮できなくなり非常に危険です。
部品の交換をする場合は、必ず指定の純正部品を使用して正規の位置に確実に取り付けてください。
- ・ノズルは絶対に人や生物に向けないでください。噴流の中に不用意に手足を入れしないでください。
負傷する場合があります。
- ・洗浄ガンは確実に握ってください。反動が強いため、洗浄ガンが飛ばされてケガをする可能性があります。
- ・運転直後のポンプ、ポンプオイル、モータは高温になります。
点検、オイル交換等をするときは十分冷えてからしてください。火傷の原因になります。
- ・洗剤はメーカー指定の純正品を使用してください。
- ・洗剤が目や手についたときは、すぐに洗い流してください。

1. 安全にご利用いただくために

1. 2. 警告ラベルの貼付位置と内容

本機には、装置の側面および制御ボックスの前面に下記の警告ラベルが貼り付けてあります。警告ラベルの内容を守ってご使用ください。



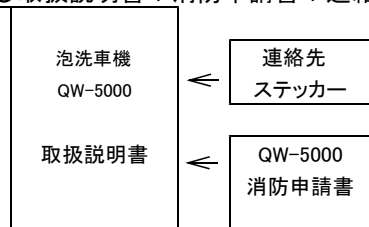
警告

警告ラベルは大切に扱ってください。
汚れたりはがれたりした場合はすみやかに販売店より購入の上、正しく貼り付けしてください。

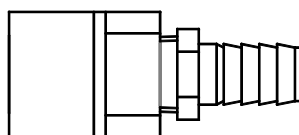
2. 付属品

製品のお受け取り時に、下記の部品がそろっているか確認してください。

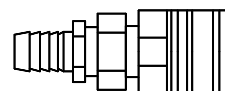
○取扱説明書+消防申請書+連絡先ステッカー



○水供給ジョイント(X1)



○カブラソケット(X1)

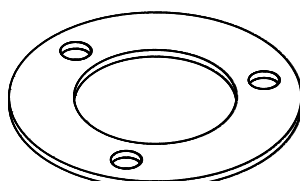


○高圧ブーム(X1)

○低圧ブーム(X1)

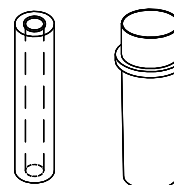


○パッキン(X2)

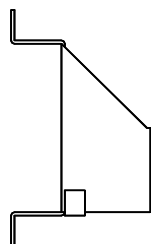


○水フィルターカートリッジ(X1)

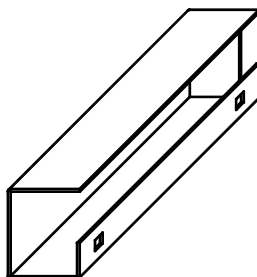
○水フィルターハウジング(X1)



○ガンホルダ(X1)



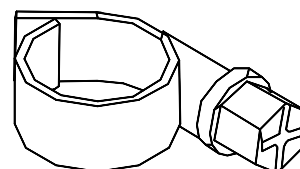
○泡ガンホルダ(X1)



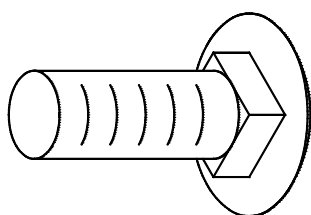
○ホースバンド[大](X2)

○ホースバンド[中](X1)

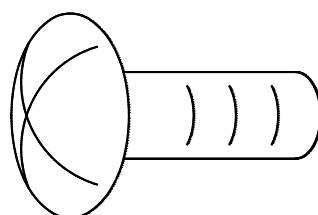
○ホースバンド[小](X1)



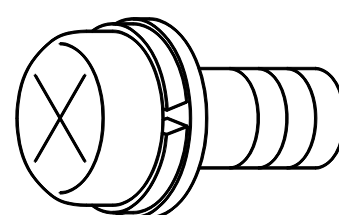
○角根丸頭ボルト
M5X15(X2)



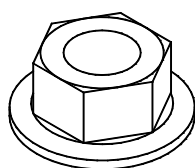
○十字穴付きトラス小ねじ
M5×16(X6)



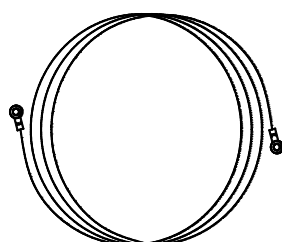
○座金組込みみなべ小ねじ
M5X16(X4)



○六角ナット M5(X6)



○本体アース線(X1)



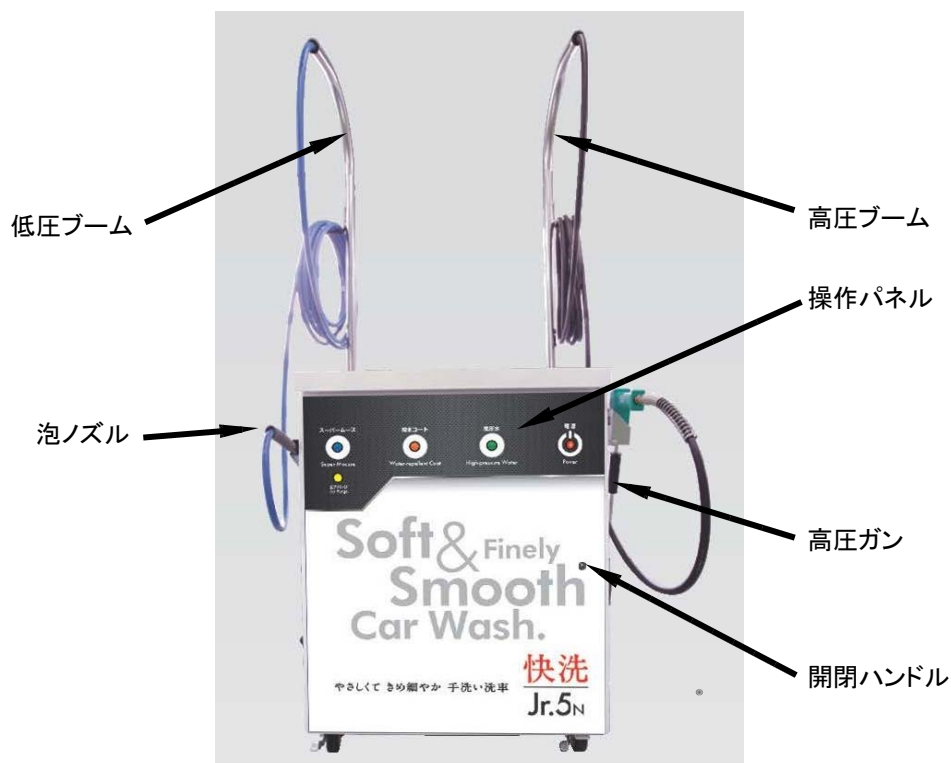
3. 装置仕様

商品名	快洗 Jr. 5
型式	QW-5000
外形寸法	高さ2080mm×幅960mm×奥行600mm
重量	約70kg
電源	AC100V 50/60Hz 共用
定格消費電力	1000W/1250W (50Hz/60Hz)
電気容量	15A
給水条件	給水量 12L/min以上
エア供給条件	エア圧 0.5~1.0MPa
使用環境温度条件	5°C~40°C (寒冷地対応キット搭載時は、-10°C~40°C)
吐出量	高压: 8.0L/min (50Hz/60Hz)
	中圧: 10.3L/min (60Hz時) 8.6L/min (50Hz時)
	低压: 4.5L/min (60Hz時) 3.8L/min (50Hz時)
吐出圧	高压: 3.0MPa
	中圧: 0.2MPa以下
ノズル	バリエブルノズル: FALM-065
使用ケミカル	超撥水コート
	パワームース4 or キーパームース 〈選択式〉
ケミカル消費量	超撥水コート: 105cc/min 希釈率: 1.1%
	パワームース4: 100cc/min 希釈率: 2.6% (50Hz時) 2.2% (60Hz時)
	キーパームース: 200cc/min 希釈率: 5.3% (50Hz時) 4.4% (60Hz時)
オプション	エアーホースリールキット
	寒冷地対応キット
	放水ポンプキット

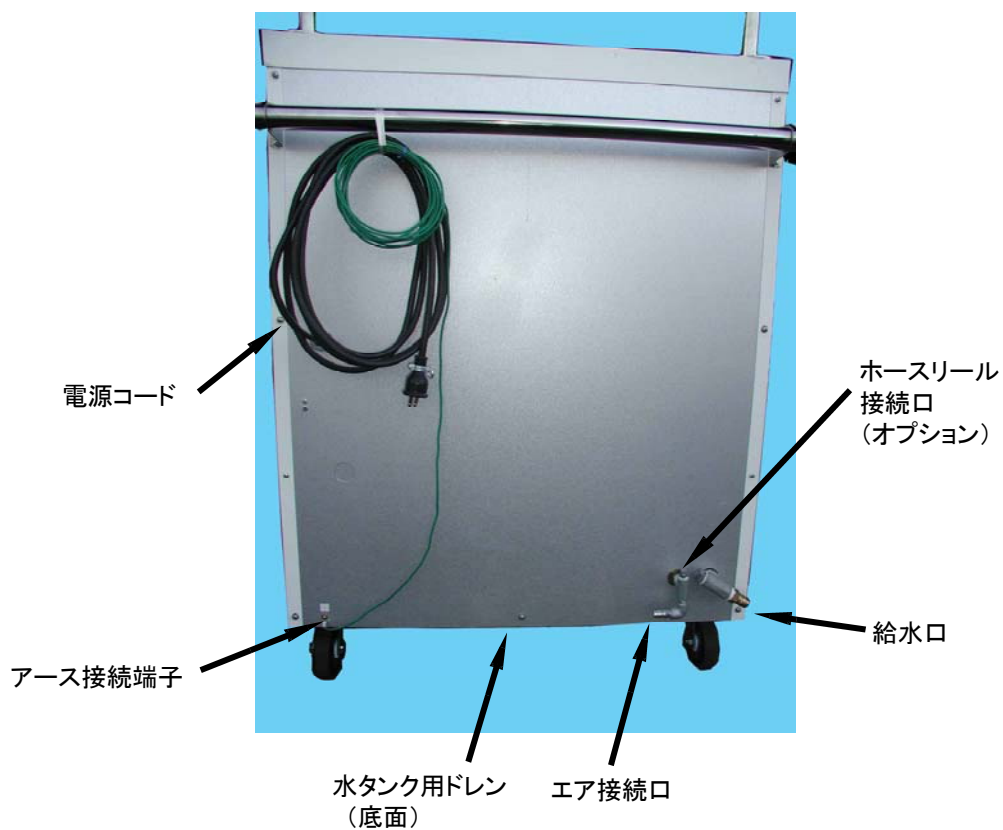
4. 各部の名称と機能

4. 1. 各部の名称

■本体外部

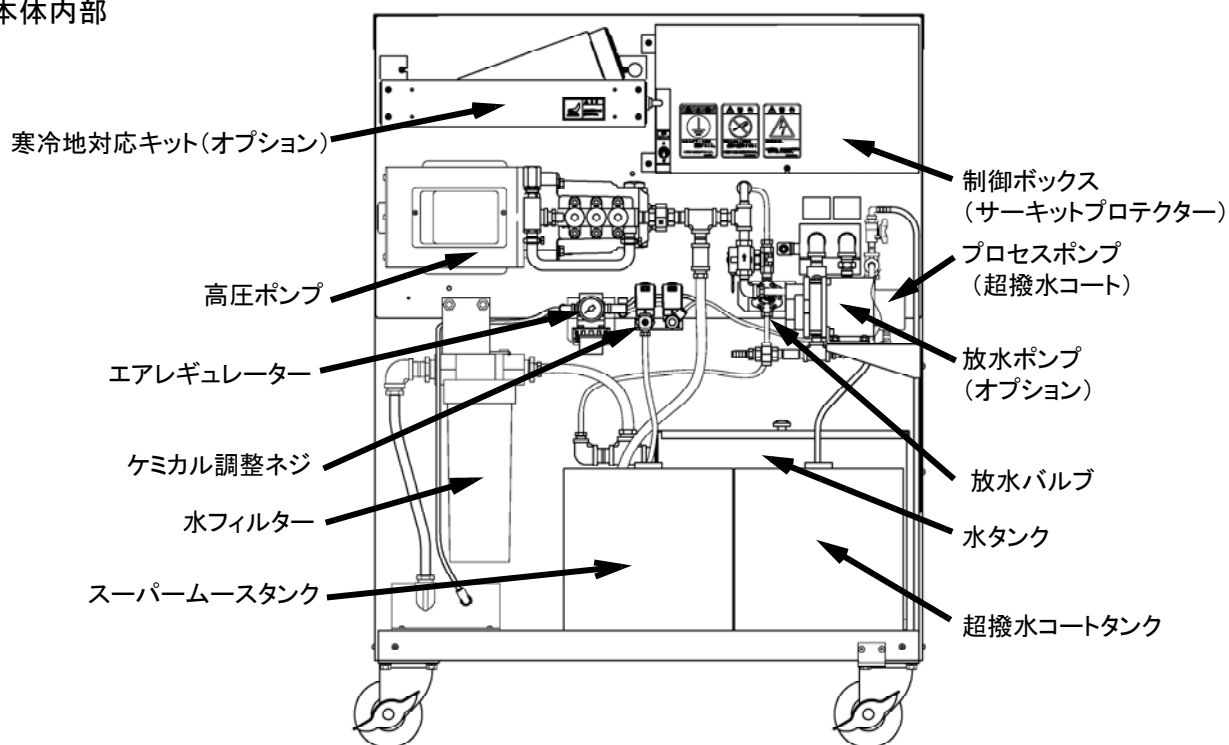


※外観デザインは快洗Jr.5Nのものです。



4. 各部の名称と機能

■ 本体内部



■ 操作パネル

スーパームースボタン

泡ノズルからスーパームースの吐出を始めます。

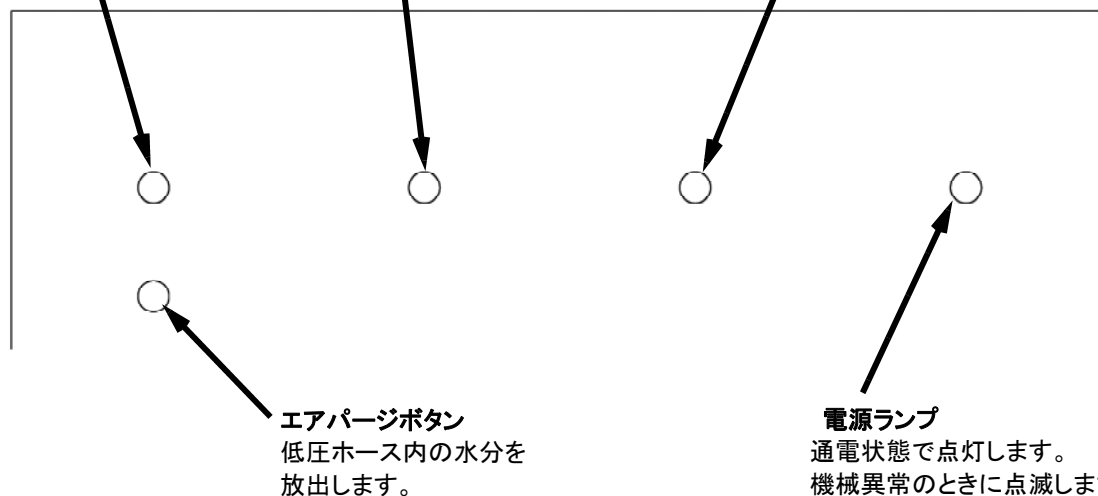
※パワーームース4 もしくは
キーパーームース のどちらか
選択式となります。

超撥水コートボタン

高圧ガンから超撥水コートの吐出を
始めます。

高圧水ボタン

高圧ガンから高圧水の吐出を
始めます。

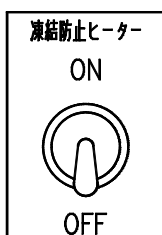


4. 各部の名称と機能

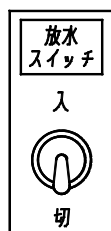
■ 制御ボックス

① 制御ボックス内には、高圧ポンプモータ保護用のサーキットプロテクタが入っています。(P10-2 参照)

② オプションで本体に取り付けられたヒータを入/切します。



③ 制御ボックス左下には放水スイッチがあり、放水機能を入/切します。



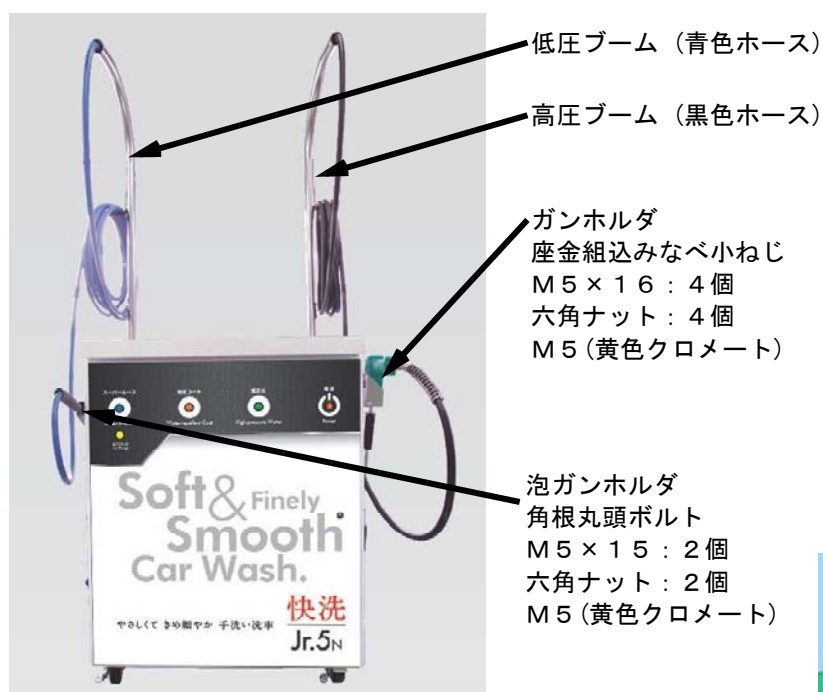
5. 運転前の準備

設置店様でご準備いただくもの

- ① 水道ホース（内径φ 15mm）
- ② エアホース（内径φ 6mm）
- ③ 必要に応じて延長コード（導体公称断面積3.5mm²以上、長さは15m以下）

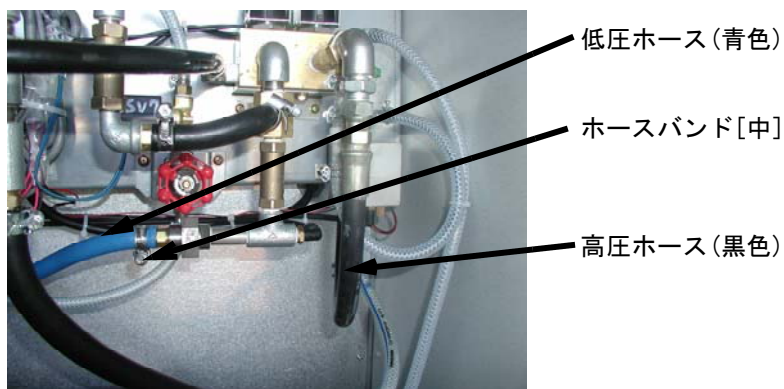
5. 1. 本体の組立

1. 機器を開梱し、ブーム、ガンホルダを取り付けます。



※外観デザインは快洗Jr. 5Nのものです。

2. 高圧ホース、低圧ホースを接続します。



ブーム取付部



ガンホルダ部



泡ガンホルダ部



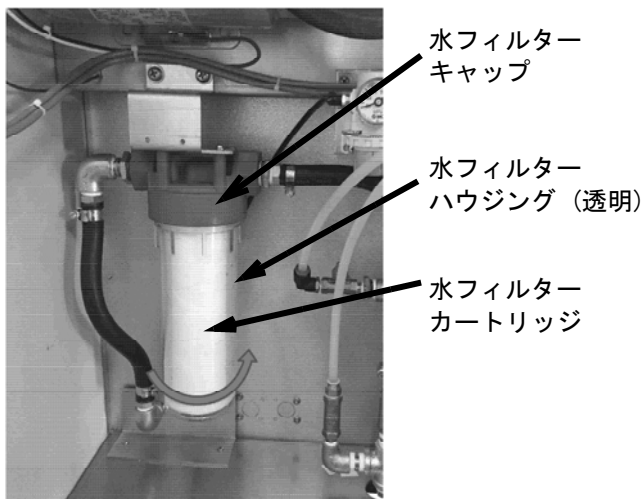
⚠ 注意

低圧ホースを接続するときは、グリスを継手に塗りにホースを差し込んでください。
無理にホースを差し込むと、継手を破損する場合があります。

5. 運転前の準備

3. 水フィルターカートリッジ、ハウジングを取り付けます。

- 1) カートリッジをハウジング下部突起部に差し込んでください。
- 2) 次に反時計回りでゆっくりキャップにねじ込んでいきます。
- 3) 強く締めすぎて長時間運転しますとカートリッジの膨張でキャップやハウジングの破損の恐れがあります。



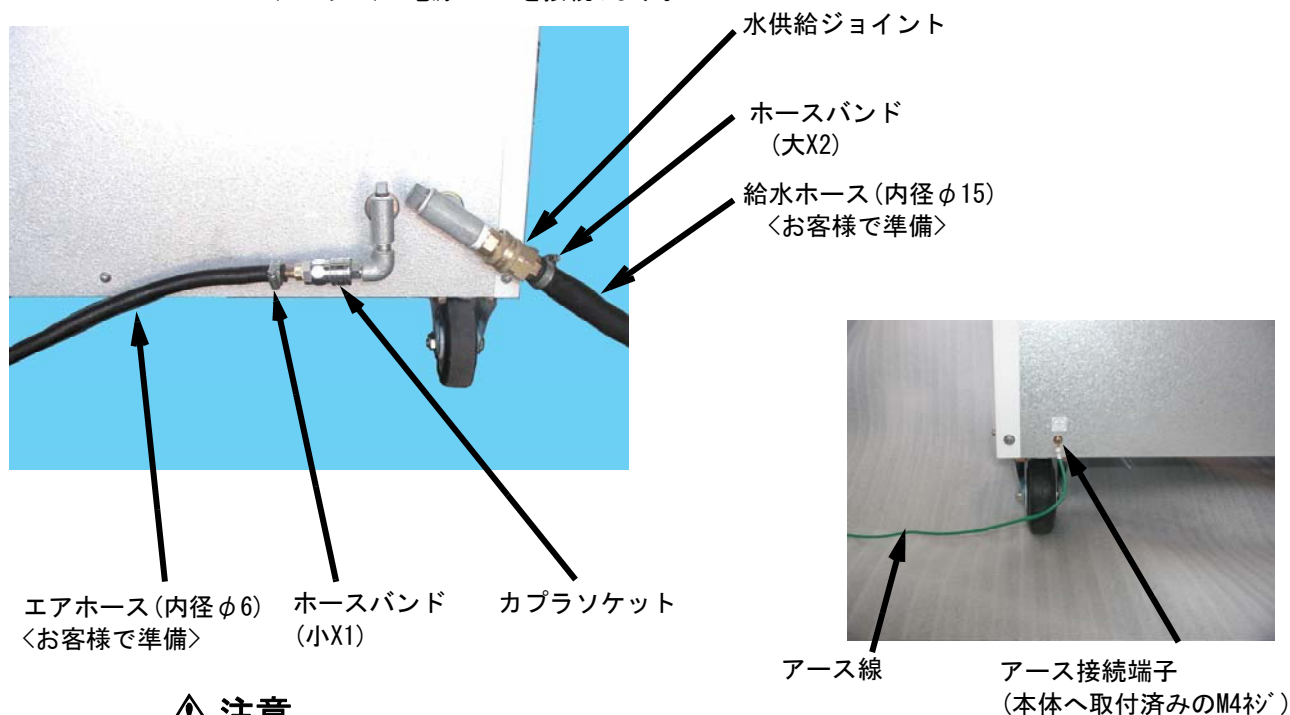
⚠ 注意

ハウジングをキャップに取り付ける際は工具を使わず、手でねじ込み締め付けてください。

5. 運転前の準備

5. 2. 水・エア・電源の接続

1. 水供給ジョイントに15mm内径のホースを取り付け給水口に接続します。
2. エア接続口にエアホースを接続します。エアの元圧力は0.5～1.0MPaを供給してください。
3. アース線を接続します。
4. 100Vコンセント(15A以上)に電源コードを接続します。



⚠ 注意

- ・エアの元圧力は必ず1.0MPa以下を供給してください。
1.0MPa以上の圧力をかけると故障の原因となります。
- ・フィルターを通した清浄なエアを供給してください。ろ過度は5 μ m以下を選定してください。
- ・電源コードは必ず100Vコンセント(15A以上)に接続してください。
- ・アース線は必ず接続してください。
(分電盤アース端子又はアースコンセント端子と製品本体アース端子を接続してください。)
- ・延長コード、たこ足配線などで接続すると高圧での洗浄ができません。
- ・運転時の電源電圧が95V以下になると停止する場合がありますので、運転時の電源電圧は確実に「95V」以上にしてください。
[他の機器と同じ電源を使用している場合、他の機器が作動すると電圧が一時的に下がることがありますのでご注意ください。]
- ・電源線の延長コードは、導体公称断面積3.5mm²以上 長さは15m以下で使用してください。
リールの場合、電圧低下するため巻いたままでの使用は避けてください。
- ・濡れた手でコンセントを触らないでください。
- ・コンセント接続部などを水で濡らさないでください。

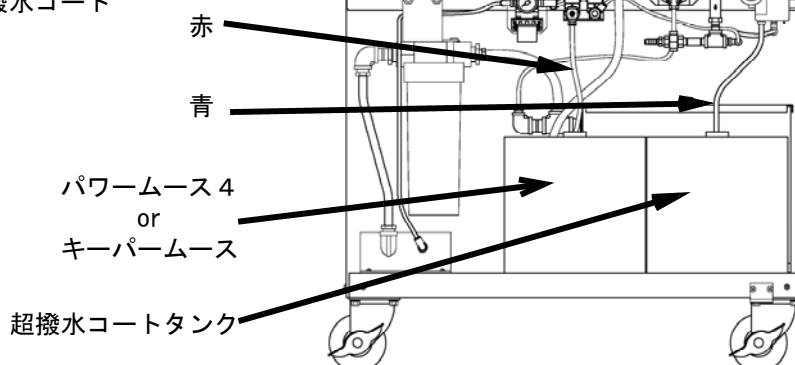
5. 運転前の準備

5. 3. 洗剤の補給

1. 本体に各ケミカルを補給します。

赤テープ巻きチューブ → パワームース 4
or
キーパームース

青テープ巻きチューブ → 超撥水コート



5. 4. ムース別吸引量の調整

パワームース 4 と キーパームース は、適正吸引量が異なります。

パワームース 4 : 100cc/分 (工場出荷時設定)

キーパームース : 200cc/分

1. キーパームースを使用する場合

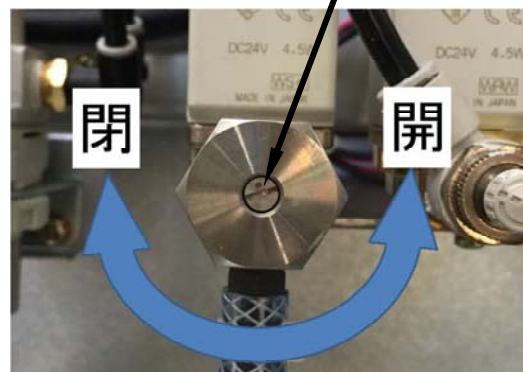
工場出荷時はパワームース 4 に合わせていますので、キーパームース使用時は、ケミカル調整ネジ (☞4. 各部の名称と機能を参照ください。) をマイナスドライバー等で回転させ調整します。

右図の「閉」の方向へ回転させ、一度全閉状態 (時計回りに最大限回した位置) にします。その後、「開」の方向に約 1/2 回転開けてください。

2. パワームース 4 に戻す場合

前項同様に、ケミカル調整ネジを「閉」の方向へ回転させ一度全閉状態にします。その後、「開」の方向に約 1/4 回転開けてください。

ケミカル調整ネジ



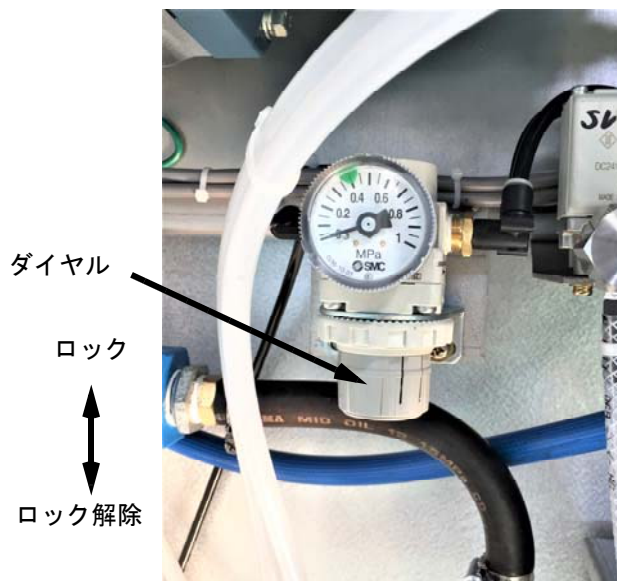
⚠ 注意

- ・吸引量の調整は、調整ネジを少しずつ回しながらしてください。また、調整ネジは全閉状態から3回転以上は回さないでください。ネジが外れてケミカルが吸引されなくなります。
- ・本項でのケミカル吸引量の調整回転数は、あくまで設定目安となりますので、正確に吸引量を調整するにはメスシリンダー等を用いて吸引量を測定してください。
- ・パワームース 4 を一度使用した後にキーパームースを使用する場合、またその逆の場合も同様にケミカルを変更する際には、一度水を吸引させてホース内のケミカルを洗い流してください。各ムース本来の性能が発揮されない可能性があります。

5. 運転前の準備

5. 5. エア圧力の調整

1. スイッチをOFFにします。
2. エアレギュレーターのダイヤルを下に引き、ロックを解除します。
3. ダイヤルを回し0.4MPaに合わせます。(必ず、0.4MPaで使用してください。)
4. ダイヤルを上を押し、ロックします。

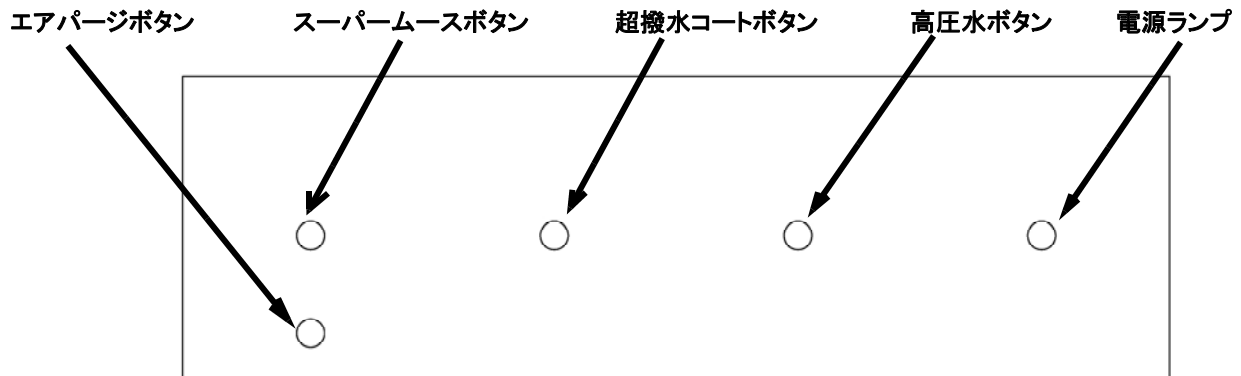


6. 使用方法

6. 1. 操作スイッチ

洗浄ガンより吐出されるケミカル、水は次の通りです。

- ・ 高圧ガン . . . 「水」
「超撥水コート」(☞6. 4. バリアブルノズルの使用方法を参照ください。)
- ・ 泡ノズル . . . 「スーパームース」



各スイッチを押すと、ケミカル、水が吐出されます。
動作中は、どのボタンを押しても停止します。(エアパーズボタンを除く)
エアパーズボタンを押している間は、低压ホース内部の水を放出するためのエアが出ます。
(☞6. 5. 低压ホースのエアパーズの方法を参照ください。)
※高圧ガン・泡ノズルからの同時吐出はできません。

⚠ 注意

・ 通水後はじめて使用する場合は、必ず高圧ポンプと放水ポンプ（オプション）のエア抜きをしてください。高圧ポンプおよび放水ポンプが損傷します。

6. 2. 高圧ポンプのエア抜き

※放水ポンプキット搭載機は、この手順の前に放水ポンプのエア抜きをする必要があります。
(☞6. 7. 放水ポンプのエア抜きを参照ください。)

1. 放水スイッチを ON にし放水バルブを開け、高圧ガンから放水されることを確認したら OFF にします。
2. 高圧水ボタンを押し5秒ほどポンプを動かした後、OFF にします。超撥水コート、スーパームースでも同様に5秒ほどポンプを動かした後、OFFにします。
3. 各ケミカルホース内のエアが見えなくなり、動作音と圧力が安定するまで②の操作を繰り返します。

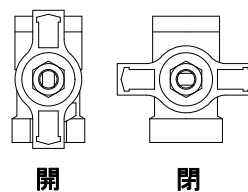
6. 3. プロセスポンプのエア抜き

超撥水コートのケミカル取付後はじめて使用する場合は、プロセスポンプのエア抜きをしてください。

エア抜きバルブを開に切替え、超撥水コートボタンを押します。

(☞6. 4. バリアブルノズルの使用方法を参照ください。)

本体下へケミカルが一定間隔で滴下されることを確認してから、エア抜きバルブを閉に切替えてください。



エア抜きバルブ



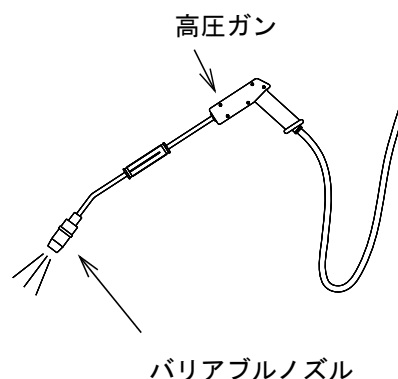
6. 使用方法

6. 4. バリアブルノズルの使用方法

■バリアブルノズルは噴射圧力、噴射角度の調整が可能です。

⚠ 注意

超撥水コートを使用する際は中圧噴射にしてください。
高圧噴射では超撥水コート剤はノズルより噴射されません。
プロセスポンプから超撥水コート剤が供給されないのでご注意ください。



1. 噴射圧力の切替え

バリアブルノズルを手前に引くと高圧噴射になり、前方に押し出すと中圧噴射になります。

通常の水洗浄作業は高圧噴射でしてください。



⚠ 注意

- ・押し引きと回転を同時に操作すると故障の原因となります。
- ・押し引き後に回転、または回転後に押し引きしてください。

2. 噴射角度の調整

バリアブルノズルを左右に回すことで噴射角度が0度（直進）から約50度（扇形）まで無段階に調整できます。

ガンを持った状態で右に回すと0度（直進）、左に回すと約50度（扇形）に変化します。



⚠ 注意

- ・可動範囲を越えて回しすぎると故障の原因となります。軽く回して止まったら、それ以上回さないでください。

6. 使用方法

⚠ 警告

- ・ノズル先をのぞきこまないでください。
- ・ノズル先を人や生物に向けないでください。
- ・噴流の中に手足を入れないでください。

⚠ 注意

- ・噴射角度を0度（直進）にして、車体を洗車しないでください。塗装面などを痛めます。

■ バリアブルノズルは消耗品のため、下記のような症状が出てきましたら交換をおすすめします。

- ・水の噴射幅がキレイに広がらない。
- ・高圧、中圧の切替え、水の噴射幅の調整が固い。
- ・高圧の状態を維持できない。

■ 下記の使い方は早期故障の原因となります。

- ・押し引きと回転を同時に操作。
→押し引き後に回転、または回転後に押し引きしてください。
- ・可動範囲を越えて回しすぎる。
→軽く回して止まったら、それ以上回さないでください。

6. 5. 低圧ホースのエアパージの方法

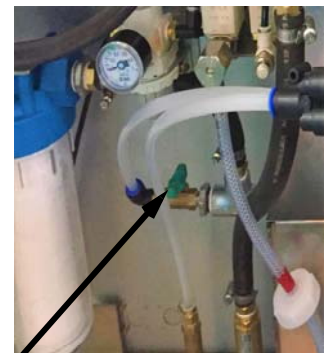
1. エアパージボタンを20秒ほど押して低圧ホース内の水分を泡ノズルより放出してください。
2. この操作は洗車を終了するときに必ずしてください。

6. 6. 凍結の恐れがある場合

1. オプション設定されている寒冷地対応キットを取り付け、スイッチをONに切替えて本体内部を保温してください。（終業後も凍結の恐れがある場合は、電源を切らずに本体内部を保温してください。）
2. 本体内部の放水スイッチをONに切替えて、高圧ガン先端より放水させます。
放水バルブ（☞4. 1. 各部の名称を参照ください。）を回して水量を調整してください。
（1分間に600cc程度が適量です。）
3. 本体正面のエアパージボタンを20秒ほど押して低圧ホース内の水分を放出してください。

6. 7. 放水ポンプのエア抜き（オプション）

1. 給水バルブ（放水ポンプ呼び水用）と放水バルブを全開にし、放水スイッチをONにします。（放水バルブおよび放水スイッチの位置は、☞4. 1. 各部の名称を参照ください。）
2. 高圧ガンから放水されることを確認したら、給水バルブを約3秒毎に開閉させます。
3. 給水バルブが閉の状態、高圧ガンから連続して放水されるまで②の操作を繰り返してください。
4. 放水ポンプのエア抜きが完了したら、高圧ポンプのエア抜きをしてください。（☞6. 2. 高圧ポンプのエア抜きを参照ください。）



給水バルブ(放水ポンプ呼び水用)

7. オプション機能について

本機には、下記に示すオプション機器が用意されています。各オプション機器は現場で取り付けができますので必要に応じて使用してください。

■エアホースリールキット

本オプションを使用すると各種作業用に圧縮エアを取り出すことができます。

■寒冷地対応キット

冬期間等で装置内部が凍結しないように装置内部にヒータを搭載することができます。

●使用方法

凍結防止ヒータスイッチを「入」にすると、装置内部に取付けられたヒータが発熱し、装置内部の凍結を防止することができます。放水と併用することで寒冷地においても、凍結することなく洗浄作業をすることができます。
「切」でOFFします。

■放水ポンプキット

本オプションを使用すると水タンクから放水動作をすることができます。

8. 日常管理

8. 1. 始業点検

洗浄作業前に必ず始業点検をしてください。

1. 給水の確認
2. エアの確認
3. 各ケミカルの残量確認
4. 周囲の清掃と安全確認
5. 電源の投入

8. 2. 終業時の処置

一日の営業が終わったら、電源コードをコンセントから外してください。

■凍結の恐れがあるときは・・・

- ・本体を凍結の恐れのない場所に移動してください。
 - ・凍結の恐れのない場所への移動が困難な場合は(☞6. 6. 凍結の恐れがある場合)を参照し機内の凍結防止をしてください。
- また、その際は忘れず電源に接続してください。

9. 保守点検

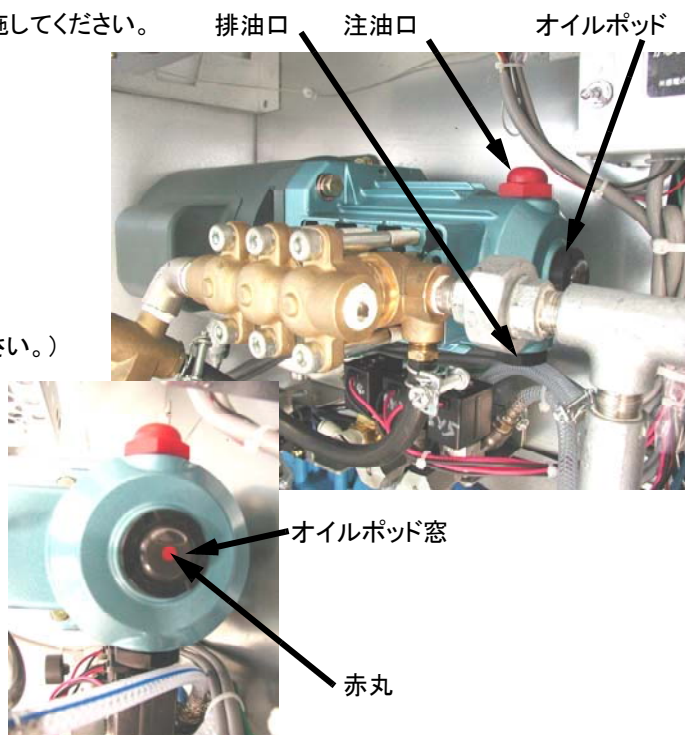
9. 1. オイルの交換

オイルの交換は下記運転時間を目安に実施してください。

初回	...	1ヵ月
初回以降	...	3ヵ月

- ① 排油口よりオイルを抜きます。
オイル抜き後、排油口を閉めます。
- ② 注油口からオイルを入れます。
(オイルポッド窓の赤丸の高さまで入れてください。)

オイル : エンジン用 SC級 10W-30
規定油量 : 約300cc

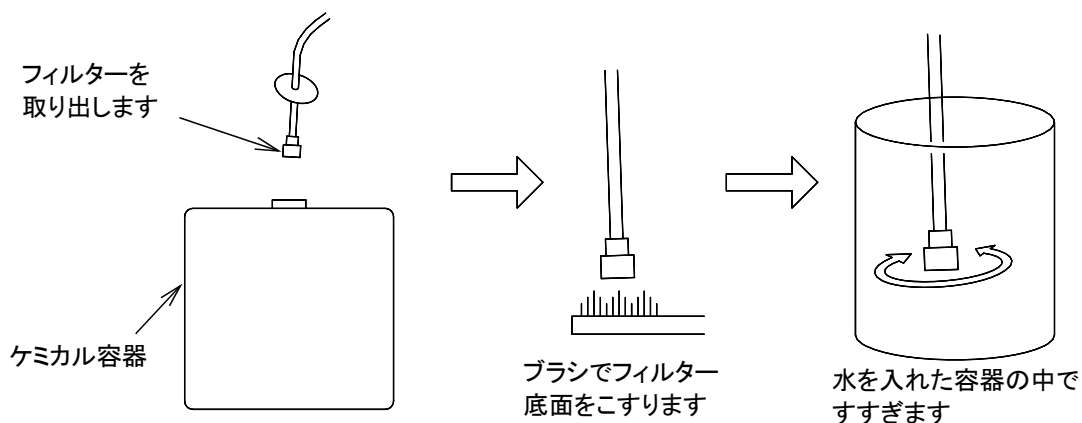


⚠ 注意

- ・オイル量は必ず守ってください。
- ・オイルが多すぎるとオイル室の圧力が上がり、オイルが漏れる場合があります。
- ・オイルが少なすぎるとポンプを破損する場合があります。
- ・オイルの交換は水平な場所でしてください。傾いていると正確なオイル量が確認できません。
- ・運転直後はポンプ及びオイルは高温になっています。オイルが冷えてから交換してください。
- ・ポンプより水漏れを発見した場合は、直ちに運転をやめて修理をしてください。
そのまま使用を続けるとクランクケース破損等高額修理が必要となります。

9. 2. ケミカルフィルターの清掃

ケミカルフィルターをケミカル容器から取り出し、ブラシでフィルター底面をこすります。
その後、水を入れた容器の中で動かし、すすぎます。
それぞれのフィルターは、その都度すすぎ容器の水を取り替えて別々に掃除してください。



9. 保守点検

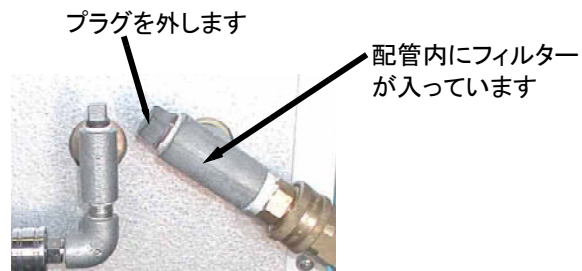
9. 3. 高圧ガンノズルの洗浄

ノズルが詰まったときは、ノズルを取り外して、清掃してください。
ノズルを2mm幅の六角レンチで外してください。
外したノズルは、つまようじなどを使って、正面から詰まったゴミをつついて取り除き、水ですすいで、元の箇所に取り付けてください。



9. 4. 水供給ジョイントフィルターの清掃

本体背面給水口の配管内にフィルターが入っています。
3か月ごとに清掃してください。



9. 5. 水フィルターの清掃

1. 水フィルターハウジングの清掃
水フィルターのハウジングをキャップより取り外し、ハウジング内を中性洗剤などで清掃してください。
(1～2か月毎)
2. 水フィルターカートリッジ交換
使用中に水タンクが濁水する場合は、カートリッジが目詰まりし通水量が減少しています。
カートリッジを交換してください。
※カートリッジは清掃できません。
(☞5. 1. 本体の組立 3. 水フィルターの取付を参照ください。)

⚠ 注意

- ・ハウジング清掃時には、シンナー、アルコールなどは使わないでください。
ハウジングが破損する恐れがあります。

9. 保守点検

9. 6. 機械本体のお手入れ

機械の美観を保つために、定期的に本体外装をタオルなどで拭き、ホコリやゴミを落としてください。拭き掃除に洗剤を使用するときは、中性洗剤を用いて、タオル等はかたく絞ってから拭いてください。

⚠ 警告

- ・拭き掃除の際は、必ず漏電遮断器を切ってください。通電したままの拭き掃除は、予期せぬ高圧噴射によってケガをする可能性があります。
- ・機械に直接水をかけたたり、濡れたタオルを絞らずに拭いたりしないでください。機械が故障したり、感電する可能性があります。

⚠ 注意

- ・拭き掃除にシンナー、石油類は使用しないでください。機械の外装を傷めます。

9. 7. 保守点検管理表

装置の保守点検は、下記の管理表に従ってしてください。

点検項目	点検頻度	処 置
ケミカルフィルター清掃	随時	
水供給ジョイントフィルター清掃	3ヵ月毎	
水フィルターハウジング清掃	2ヵ月毎	
水フィルターカートリッジ交換	通水流量 減少時	
ケミカルホース交換	ホース内着色時 (原液凝固)	
高圧ホース交換	1年毎	
高圧ポンプ オイル交換	初回1ヵ月 初回以降3ヵ月毎	

⚠ 注意

- ・保守点検は記載内容を遵守の上、実施してください。

10. こんなときは

10.1. こんなときは

- ・故障かなと思われる前にもう一度、以下の項目を確認してください。
- ・異常が生じたときは、この取扱説明書をよくお読みいただき、以下の項目に従って、原因の確認および処置をしてください。
- ・処置の方法がわからない場合や処置をしても不具合が解消されない場合は、お求めの販売店へ相談してください。

注意

- ・処置をする際は、必ず漏電遮断器を切り、給水を止めてから安全を確認してしてください。
- ・故障したままの状態での運転はしないでください。

症 状	原 因	処 置
水が出ない	①漏電遮断器が「OFF」になっている ②電源が入っていない ③水タンクが渴水している ④水供給ジョイントフィルターが詰まっている。 ⑤水フィルターカートリッジが詰まっている ⑥ポンプ用サーキットプロテクタがトリップしている	①漏電遮断器を「ON」する ②電源を投入する ③給水用の水道のバルブを開きます ④フィルターを清掃する ☞P9-2 参照 ⑤カートリッジを交換する ☞P5-2 参照 (有償) ⑥サーキットプロテクタのスイッチを一度オフした後に再度オンする ☞P10-2 参照
異音がする	①水タンクが渴水している ②配管の水漏れ ③ポンプ水漏れ	①給水用の水道のバルブを開きます ②販売店へ相談 ③販売店へ相談
電源ランプが点滅している	①ポンプ用サーキットプロテクタがトリップしている	①サーキットプロテクタのスイッチを一度オフした後に再度オンする ☞P10-2 参照
超撥水コートが出ない	①ケミカルが切れている ②ケミカルフィルターが詰まっている ③プロセスポンプに空気が入っている	①ケミカルを補給する ☞P5-4 参照 ②ケミカルフィルターを清掃する ☞P9-1 参照 ③プロセスポンプのエア抜きをする ☞P6-1 参照
スーパームースが出ない	①電源が入っていない ②エアが供給されていない ③水が供給されていない	①電源を投入する ②エアを供給する ☞P5-4 参照 ③水を供給する

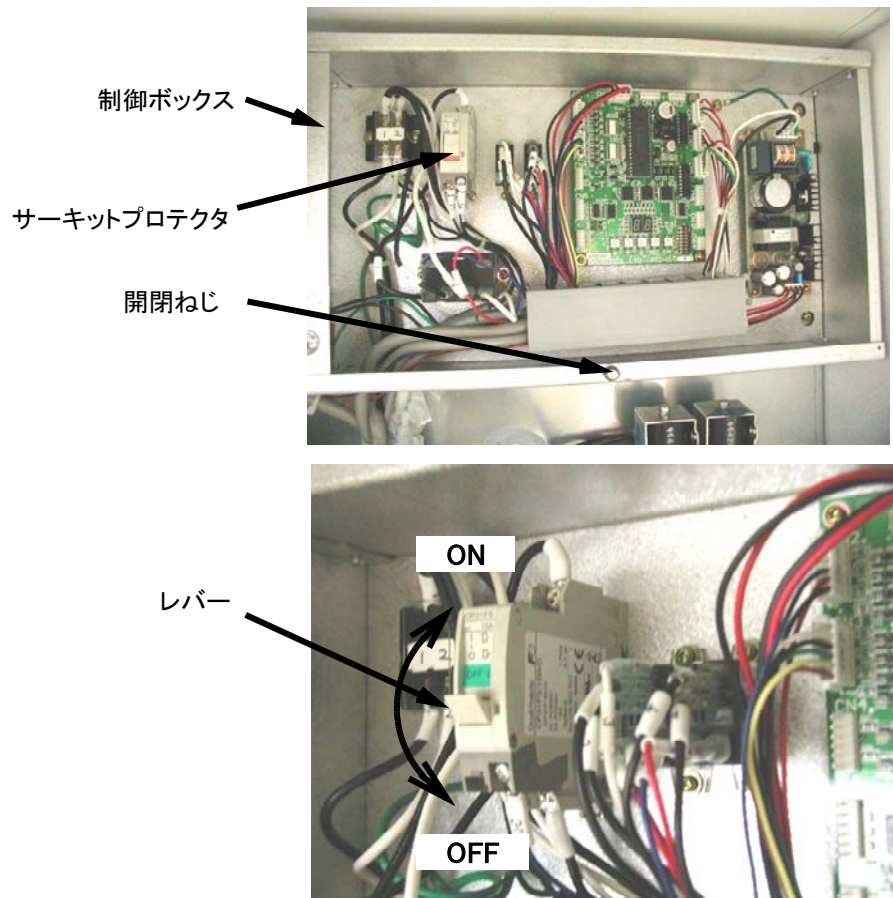
10. こんなときは

スーパームースが出ない	④ケミカルが切れている	④ケミカルを補給する	☞P5-4 参照
	⑤ケミカルフィルターが詰まっている	⑤ケミカルフィルターを清掃する	☞P9-1 参照
	⑥水供給ジョイントフィルターが詰まっている	⑥フィルターを清掃する	☞P9-2 参照
	⑦水フィルターカートリッジが詰まっている	⑦カートリッジを交換する (有償)	☞P5-2 参照

10. 2. サーキットプロテクタの復帰方法

ノズルに異物が詰まるなどして、高圧ポンプモータが過負荷になると、サーキットプロテクタが作動します。この状態では機械は使用できません。

ノズルの清掃など、モータが過負荷になった原因を取り除いた後で前面扉内の制御ボックスのカバーをプラスドライバーで開閉ネジを緩めて開け、中にあるレバーを倒してサーキットプロテクタをONにしてください。



1.1. 消耗部品について

下記の部品は消耗部品です。

<ul style="list-style-type: none">・ポンプ部品（アンローダ含む）・プロセスポンプ部品・バルブ 類・ホース 類・車 輪 類	<ul style="list-style-type: none">・ノズル・ゴム部品・水フィルターカートリッジ・ランプ
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

これらの部品は保証期間内であっても、保証の対象外となります。

1 2. 製品品質保証規定

このたびお買い上げいただきました「QW-5000」は、本品質保証規定記載内容に基づき保証いたします。

1 保証期間

保証期間は、納入年月日より原則として1カ年とします。

2 保証内容

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常な使用状態で、保証期間内に（納入後1年以内）故障した場合は、本機をお買い求めの販売店において無償で修理をさせていただきます。ただし、二次的に発生する損失に対する保証（例：機械停止中の営業補償、機械利用者や周辺住民との間のトラブルに関する補償等）、および次の場合に該当する故障、処置については保証いたしません。

- 1) 使用上の誤り、取扱説明書等の注意書が指示する保守点検、保管などの義務を怠ったために発生した故障および損傷。
- 2) 商品の機構に影響をおよぼす変更や改造を加え、それが原因で発生した故障および損傷。
- 3) ゴム部品、各種電球、ホース類、油脂等のあらゆる自然消耗する部品、ならびに前記部品が損傷、消耗し交換あるいは補給を要する場合。
- 4) 火災・地震・風水害、その他の天災地変に起因する故障および損傷。
- 5) 指定外の使用電源（電圧、周波数）に起因する故障および損傷。
- 6) 公害や異常水質（汚水、塩水等）の特殊な使用環境に起因する故障および損傷。
- 7) 戦争、変乱、暴動、騒じょう、もしくは労働争議に起因する故障および損傷。
- 8) 指定された純正部品を使用しなかったことに起因する故障および損傷。
- 9) 第三者の故意による機械の損傷。
- 10) 第三者による機械からの売上金の盗難に対する損失費。
- 11) 外観上の劣化。（日焼け退色等）
- 12) 日本国以外で使用された場合。
- 13) 補償請求手続きが不備の場合。（例：保証書の指示や、型式および機体番号の連絡がない場合等）
- 14) 弊社指定以外の業者および方法による設置、移設、修理等が原因で発生した故障および損傷。
- 15) 取扱説明書等に記載されている保守点検作業。
- 16) その他、弊社が保証に相当しないと判断される場合。

万が一納めた機械において、指示した性能を発揮できない恐れがあると弊社が判断した場合は、お客様のご了解の元に、故障前であっても無償で点検・修理いたします。保証期間内に故障して無償修理を依頼されるときは、製品に添付されている保証書を提示願います。

3 お客様へ

つねに最良の状態でご使用いただき、かつ十分な保証を受けられるように、次の事項を励行してください。次の事項が順守されない場合、無償修理とならない場合があります。

- 1) 取扱説明書、本体貼付ラベル等の指示に従って正しくご使用ください。
- 2) ご使用前に必ず運転前の点検を励行してください。
- 3) 補修交換部品は、正規の組付けをしてください。また、取扱説明書に部品の補修交換の周期の指示がある場合、この交換周期を守ってください。
- 4) 弊社の定めた業者による定期点検を受けてください。（有料）

4 保証の実行可否

- 1) この保証規定は、本書に明示する保証期間で前記の条件の元に無償で修理させていただくことを保証するものです。
- 2) 保証期間経過後に発生した故障の修理、または保証期間中であるが、前記保証規定に合致しないものについては、有償修理となり、保証による責は負いません。

5 設置（据付）および移設について

本製品の設置（据付）および移設は、お買い上げの販売店へ依頼してください。移設の場合は、販売店による点検を実施してください。

保証書

(お客様控)

《製品名》

泡洗車機 QW-5000
『快洗 Jr. 5』

◎機械番号

◎保証期間

納品日から 1年間

納品日付 年 月 日

◎お客様名

印

◎ご住所 〒 -

TEL: ()

◎販売店名

担当

印

◎印欄に記入のない場合は無効になります。
必ず記入の有無を確認してください。
もし記入のない場合はお買い上げの販売店に
お申し出ください。
本書の再発行はいたしませんので、紛失しない
よう取り扱いに十分ご注意ください。

発売元: KeePer 技研株式会社

〒474-0046 愛知県大府市吉川町四丁目17番地
Tel (0562) 45-5258

保証書控 兼 取扱説明書受領証

(販売店 → KeePer技研返送用)

KeePer技研株式会社 御 中

本機の納入に当たって、下記納入担当者より、製品の
説明および操作指導を受け、その上で取扱説明書を受領
しました。

《製品名》

泡洗車機 QW-5000
『快洗 Jr. 5』

◎機械番号

◎保証期間

納品日から 1年間

納品日付 年 月 日

◎お客様名

印

◎ご住所 〒 -

TEL: ()

◎販売店名

担当

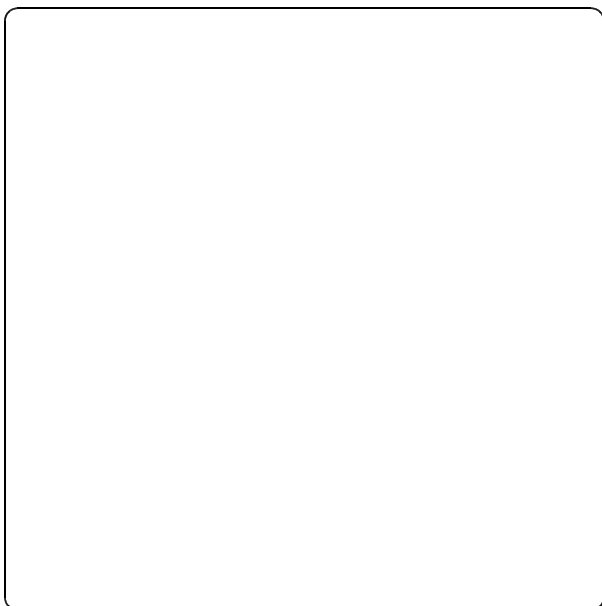
印

切
り
取
り
線

販売店の方へお願い

お客様へ本機を納入する際は、本機の操作方法、
注意点等を十分説明してから、取扱説明書
をお渡ししてください。
このとき、本ページの◎印項目に、必ず
必要事項を記入の上、右側部分を切り離し、
弊社まで返送願います。

お問い合わせは



発売元 **K e e P e r** 技研株式会社

〒474-0046 愛知県大府市吉川町四丁目17番地
Tel (0562) 45-5258

製造元  **アベテック株式会社**

〒003-0011 札幌市白石区中央1条5丁目3番7号
Tel (011) 842-3511

販売店、施工業者の方へのお願い。
この取扱説明書は、必ずお客様に
お渡ししてください。

2018年 8月
J4017592-